

「いつ」をあらわすことばで、文しょうを六つのまどまりにわけよう。

一、文しょうを 六つの まどまりに 分けましょう。

そのために「いつ」を あらわす はじめの ことばを 見つけましょう。

① 「春になると

「

④ 「

「

② 「

「

⑤ 「

「

③ 「やがて

「

⑥ 「このように

「

二、教科書を よく見て 文を 書きましょう。

春 にな る と、

--	--	--	--



一人で「いつ」を あらわす ことばが 見けられた。( )

おうちの人の いけんで「いつ」を あらわす ことばが 見けられた。( )

この ときの たんぽぽの ようすが くわしく わかた。( )

花がかれて 二、三日たったころの たんぽぽのちえを とらえよう。

一、たんぽぽの 「ちえ」が書いてある ところは 青で、「わけ」が書いてある ところは 赤で かこみましょう。

二、三日 ちと ちえ

その 花は しぼんで だんだん くるぽい 色に かわって いきます。

そうして たんぽぽの 花の じくは、 ぐたりと じめんに たおれて しま **ます**。

けれども たんぽぽは、 かれて しまた のでは ありません。 花と じくを しずかに 休ませて たねに、 たくさん の えいようを おらて いる **のです**。

こうして たんぽぽは、 たねを どんどん 太らせる **のです**。

**わけ** 「くからです。」  
「なぜそうするか  
が わけ だよ。」



二、左の しかくに 「ちえ」と 「わけ」を 書きましよう。

ちえ1  
そうして

わけ1  
花とじくを

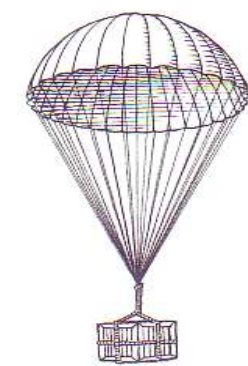
わけ2  
こうして

文の ちえ、わけの ことばで ちえや わけを 見 けられた ( ○ △ × )  
おもた こと

花がすっかりかれたころの たんぽぽのちえを とらえよう。

一、たんぽぽの 「ちえ」が 書いてある ところは 青で、「わけ」が 書いてある ところは 赤で かこみましょう。

やがて 花は すっかり かれて、その  
あとに、 白 わた毛が できて きます。  
このわた毛の つつは、ひろがると  
ちようど らかさめのように なります。  
たんぽぽは、この わた毛について いる  
たねを ふわふわと とばすのです。



らかさめ

二、左の しかくに 「ちえ」と「わけ」を 書きましょう。

Two vertical rectangular boxes for writing. The left box is outlined in red and labeled 'わけ1' at the top. The right box is outlined in blue and labeled 'ちえ1' at the top.

文の せいぎのことばを、ちえやわけを 見つけられた。( ○ △ × )  
おもたこと